

ネットワーク カメラ

インストールマニュアル

DC-Y3C14WRX

説明書を読む前に

本説明書では、IDIS Co., Ltd.の製品であるネットワークカメラの設置および運用のための基本的な説明を記述しています。本装置を初めてご使用になるユーザーや、既にご使用中の方でも、必ずご使用になる前に本説明書をお読みになり注意事項をご確認の上、製品を使用することをお勧め致します。安全上の警告および注意事項は、製品を正しく使うことで危険や財産上の被害を防ぐことにつながるため、必ずお守りください。お読みになった後は、いつでも確認できる場所に必ず保管して下さい。



- 規格品以外の製品を使用することで発生した損傷、または説明書の使用方法に従わずに発生した製品の損傷は、当社で責任を負わないのでご注意ください。
- ネットワークカメラを初めてご使用になるか、使い方がよく分からないユーザーは、設置前や使用中に限らず購入先までお問い合わせ頂き、専門技術者のサポートを受けて下さい。
- 機能拡張および故障修理のために装置を分解する場合は、必ず購入先までお問い合わせ頂き、専門家のサポートを受けてください。
- 本機は業務用として電磁波適合登録を済ませた装置ですので、販売者またはユーザーはこの点にご注意ください。もし、誤って販売または購入した場合には、家庭用のものに交換してください。

安全上の注意事項の表示

記号	規格	タイプ
	IEC60417, No.5031	直流

本文での表記

アイコン	表記	意味
	注意	本機の機能や動作に関する内容で、必ず熟知しておかなければならない内容です。
	参考	本機を使用する上で役立つ内容です。

著作権

© 2018 IDIS Co., Ltd.

本説明書の著作権はIDIS Co., Ltd.にあります。

IDIS Co., Ltd.の許可を事前に得ず、説明書の内容の一部または全部を無断で使用したり、複製したりすることは禁じられています。

本説明書の内容は製品の機能改善などの理由により予告なく変更される場合があります。

登録商標

IDISはIDIS Co., Ltd.の登録商標です。

その他の社名や製品名は当該会社が所有する登録商標です。

本文書の内容は予告なく変更する場合があります。

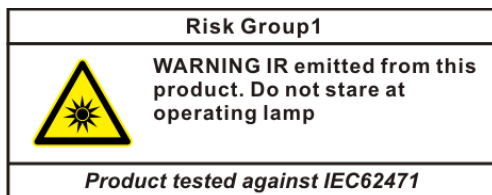
本製品には、一部のオープンソースを使用したソフトウェアが含まれています。ソースがライセンスポリシーの下で一般に公開されているかどうかに応じて、ソースコードを入手することができます。詳細については、「システム>一般」ページを参照してください。本製品はUniversity of California, Berkeleyが開発したソフトウェア及びOpenSSL Projectが開発したOpenSSLツールキット用のソフトウェアを含んでいます。また、この製品はEric Young (eay@cryptsoft.com)が作成したソフトウェアを含んでいます。

ご使用になる前に

安全および製品の故障を防ぐため、本装置をご使用になる前に下記の内容を必ず熟知した後でお使いください。製品を正しく使うことでユーザーの安全を保護し、財産上の損害などを防止するための内容であるため、必ずお読みになった上、正しくお使い下さい。

- 製品を運搬、または設置する時に衝撃を与えないでください。
- 振動や衝撃がある所に設置しないでください。
故障の原因となります。
- 製品の動作中には、製品を動かしたり移動しないでください。
- 清掃をする時は電源を切った後、必ず乾いた布で拭いてください。
- 水または湿気などの防水対策が施されていない場所には置かないでください。
- 電源コード部を引っ張って抜いたり、濡れた手で電源プラグに触らないでください。
- 電源コードの上に重い物を置かないでください。
破損した電源コードを使うと、火災および感電につながる恐れがあります。

- 予想できない停電による製品の破損を防止するため、UPS (Uninterruptible Power Supply、無停電電源供給装置)のご利用をお勧めします。関連内容は、UPS代理店でお問い合わせください。
- 本装置内部の一部は感電する恐れがあるため、カバーを開けないでください。
- 壁や天井などに設置する際は、安全にしっかりと固定し、適正温度を保持してください。空気が循環しない密閉された空間に設置すると、火災の原因となります。
- 故障および感電の恐れがある温度変化が激しい所や湿気が多い所を避け、接地されていない電源コード及び電源拡張ケーブル、被覆がむけた電源コードを使わないで下さい。
- 雷の発生が多い地域は雷保護装置のご使用をおすすめします。
- 本装置から異様な匂いがしたり煙が出たら、直ちに電源を切って購入先まで連絡してください。
- 警告: 本製品では赤外線が照射されます。IR LEDを直接見ないでください。



目次

1	第1章 – 概要	6
	製品の特徴	6
	付属品の確認	8
	名称及び機能	9
	上段カバー	9
	本体	9
	入/出力装置ポート	10
	ファクトリーリセット	11
	設置	11
	SDメモリーカードの挿入	11
	設置する	12
寸法	14	
2	第2章 – カメラ接続	15
	DirectIP™ NVRご利用の際	15
	一般遠隔監視/録画	16
3	第3章 – 付録	17
	故障の際の確認事項(Q&A)	17
	製品の仕様	18

第1章 – 概要

製品の特徴



DC-Y3C14WRX はイーサネット(Ethernet)を通じて映像を圧縮転送するIP方式のネットワークカメラです。IDIS Discovery(統合ネットワークインストールツール)プログラムを使うことで、ネットワークカメラの設定を変更したり、複数のネットワークカメラを統合管理することができます。また、装置内にウェブサーバ(IDIS Web)が搭載されているため、ウェブブラウザでリアルタイム映像を遠隔からリアルタイムで監視したり、録画された映像を検索できます。なお、製品の購入時に供給される遠隔プログラムで、ネットワークカメラの遠隔管理、監視、検索および録画ができます。



本説明書で言う**遠隔地システム**とは、遠隔録画・遠隔監視(IDIS Solution Suite Compact、IDIS Web)プログラム実行中のPCを称します。

- PCがなくてもユーザーに必要な環境設定を簡単に行えるように、DirectIP™NVRとともにDirectIPモードにも対応しています
- 高解像度、高画質映像のリアルタイム監視および録画に同時対応するマルチストリーミング対応

- H.265、H.264動画圧縮、M-JPEG圧縮アルゴリズムに同時対応
- 4段階映像圧縮率および多様な圧縮解像度対応
- 双方向オーディオ通信に対応し、遠隔コミュニケーション可能
- イベント前後のバッファリング、およびネットワーク遅延に備えた映像ストリームバッファリングによるネットワーク録画の信頼性を向上
- ウェブブラウザ、または遠隔ソフトウェアを通じた遠隔監視対応
- ユーザーのウェブサイトへのウェブキャストिंगのためのHTMLコードを自動生成
- 遠隔監視時、最大10人の同時接続対応
- IPフィルタリング、HTTPS、SSL、IEEE802.1X、およびユーザー権限の設定により、セキュリティを強化
- ネットワーク帯域幅制限とMAT機能を使用し、ネットワーク帯域幅をより効率的に使用
- UPnP (Universal Plug and Play)機能および内蔵mDNS (Multicast DNS)プロトコルを利用した便利なネットワーク接続

- ONVIFプロトコル対応(Core Spec v2.4.0)
 - スローシャッター対応により最低被写体照度の性能改善
 - 内蔵IRカットフィルターチェンジャーによる昼間/夜間モード機能対応
 - ネットワークを通じたファームウェアの簡単アップグレード
 - システム安定化のためのファームウェア二重化および自動復旧機能
 - ネットワーク上で複数のネットワークカメラの統合管理が可能
 - 様々なイベント感知機能
 - マイクロSDメモリー保存機能を持ちネットワーク切断による映像損失に対応
 - DC12VおよびPoE (Power over Ethernet)電源対応
 - 内蔵マイクをサポート
 - インテリジェントコーデック機能をサポート
-  マルチストリーミングを用いた遠隔監視及び録画機能は製品と一緒に同梱されるIDIS Solution Suite Compact プログラムで支援します。IDIS Solution Suite Compactに関する詳しい内容は各プログラムの**説明書**をご参考下さい。
-  インターネット (Network)による遠隔接続の際には、同時に接続できる回線には制限があります。

付属品の確認

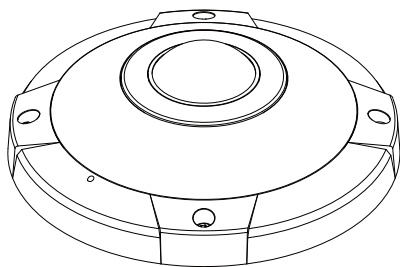
製品を購入したら梱包を解体し、下記の付属品がすべて含まれているか確認してください。モデルによって提供される付属品の外観や色は異なることがあります。

	
<p>ネットワークカメラ本体</p>	<p>設置シート(ガイドパターン)</p>
	
<p>クイックガイド</p>	<p>Lレンチ</p>
	
<p>固定ネジ (各3本)</p>	<p>防湿剤</p>
	
<p>絶縁シート、ブッシング</p>	

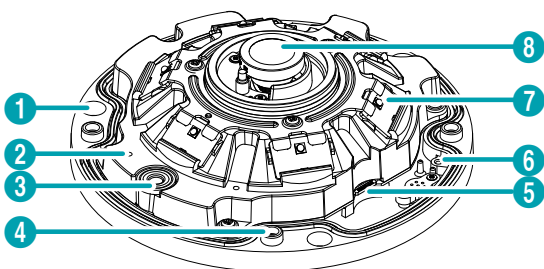
名称及び機能

✓ 製品の色やデザインはモデルによって異なることがあります。

上段カバー



本体



①	壁/天井設置穴
②	ファクトリーリセットボタン
③	内蔵マイク
④	上段カバーネジ穴
⑤	SDメモ리카ードスロット
⑥	安全ワイヤー
⑦	IR LED
⑧	レンズ

● 壁/天井設置穴

カメラを壁または天井に設置するためのネジを締めます。

● ファクトリーリセットボタン

設定値を工場出荷時の初期設定に戻す場合にのみ使います。詳しくは、[ファクトリーリセット](#)を参照して下さい。

● 内蔵マイク

上段カバーに内蔵マイクが取り付けられています。

● 上段カバーネジ穴

上段カバーを本体に固定します。

● SDカードスロット

マイクロSDメモリーカード(SanDiskまたはTranscendメーカーのSLC (Single Level Cell)またはMLC (Multi Level Cell)タイプの製品推奨)を挿入します。



システム動作中にはSDカードを取り除かないでください。システム動作中にSDカードを取り除くとシステムが正しく動作しなかったり、SDカードに保存された録画データが損傷することがあります。

● SDメモリーカードは寿命のある消耗品です。使用回数が増えるほどメモリーセクターが損傷し、録画できなかったりデータが損失することがあります。SDメモリーカードを定期的に点検し、必要な場合は交換してください。

● 安全ワイヤー

安全ワイヤーは上段カバーをカメラの本体から分離する時、上段カバーが落下する事を防止します。

● IR LED

IR LED中央にあるセンサーが照度を検知し、夜または低照度の環境でIR LEDが点灯します。

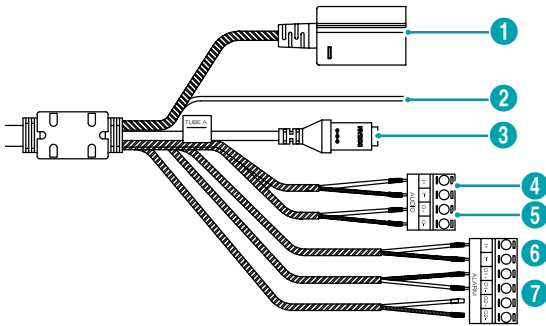
● レンズ

レンズが装着されています。



レンズまたはドームポートの表面を保護するために貼ってある保護フィルムを剥がしてから製品を設置してください。

入/出力装置ポート



①	ネットワークポート	⑤	オーディオ入力
②	アース(GND)	⑥	アラーム入力
③	電源	⑦	アラーム出力
④	オーディオ出力		

● ネットワークポート

RJ-45コネクタを持つCat5eケーブルを接続します。PoEスイッチを使う場合、イーサネットケーブルを通じてネットワークカメラに電源を供給することができます。PoEスイッチについては、PoEスイッチメーカーの説明書を参照してください。本ネットワークカメラはネットワークを通じてPCと接続して設定、管理およびアップグレードすることができます。遠隔から映像を監視することができます。ネットワーク接続設定については、**オペレーションマニュアル第1章-遠隔設定**を参照して下さい。

● アース

アースをとります。

● 電源(DC12V)

電源コネクタへ電源アダプタに接続します。アダプターのDCプラグは、外径×ピン径：5.5×2.5/2.1（両タイプ）が使用できます。

● オーディオ出力

OUT(出力): アンプに接続します(ラインアウト)。本装置はオーディオ出力アンプがないため、アンプとスピーカーを準備する必要があります。

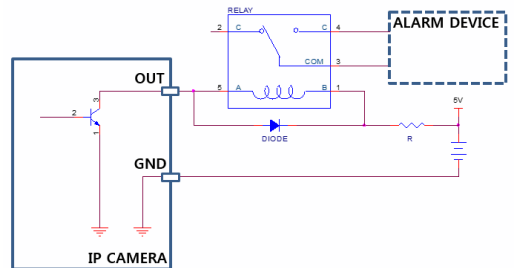
● オーディオ入力

IN(入力): オーディオソースを接続します(ラインイン)。フロントに内蔵マイクが組み込まれています。

● アラーム入/出力

- **OUT(出力)**: BJT(バイポーラトランジスタ)のオープンコレクタ(Open Collector)出力で、電圧及び電流仕様(最大負荷: 30mA、最大電圧: DC5V)を超えて使用しないでください。仕様を超えるアラーム装置を接続する場合は下図を参考して下さい。

☑ 誘導負荷(リレーなど)を接続する場合、ダイオードを並列に連結しないと製品が壊れることがあります。




- **IN(入力)**: アラーム・入力装置を接続します。(動作方法: NC(Normally Closed)、またはNO(NormallyOpen)タイプ選択可) → 機械的、または電気的スイッチをアラーム入力とGND(接地)コネクタに接続します。アラーム入力範囲は0~5Vです。電気的スイッチによるアラーム入力感知されるためには、NCの場合4.3V以上の電圧が、NOの場合0.3V以下の電圧が少なくとも0.5秒の間保持される必要があります。

- ⚠ 設置地域内の法規が映像及びオーディオ監視を許諾するかどうかを調査することはユーザーの責任です。
- DC12V電源からPoE電源に切り替える場合、電源アダプターが取り外されてからシステムが再起動します。
- 電源のアース端子を必ず接地してからご使用ください。
- 電源コードは足にひっかからないように配線し、コードが家具などによって傷つかないようにご注意ください。電源コードをカーペット等の下に設置せず、一つのコンセントにあまり多くの装置を差して過負荷が生じないようにご注意ください。
- ネットワークコネクタは屋外用の電線やケーブルに直接接続できるように設計されています。

ファクトリーリセット

ファクトリーリセットボタンは、カメラを工場出荷時の初期設定に戻す場合にのみ使われます。


 ファクトリーリセットを行う場合、ユーザーが指定したカメラのすべての設定値が失われます。

- 1 電源をOFFにしたあと、まっすぐ伸ばしたクリップをファクトリーリセットボタンの穴に差し込んでスイッチを押してください。
- 2 ボタンを押した状態で、電源アダプターを再び接続します。
- 3 装置に通電したら、約5秒後に押していたボタンを放します。
- 4 本装置が初期化されファクトリーリセットを完了すると、システムが再起動します。これでカメラのすべての設定は工場出荷時の初期設定状態になります。

本装置がONになった状態で、ファクトリーリセットボタンを短く押してから放すことでファクトリーリセットを行ったり、遠隔からIDIS Discoveryプログラムを実行してファクトリーリセットを行うこともできます。ファクトリーリセットが完了すると、システムが再起動します。遠隔ファクトリーリセットに関する詳しい内容は、**IDIS Discovery**説明書を参照して下さい。


設置

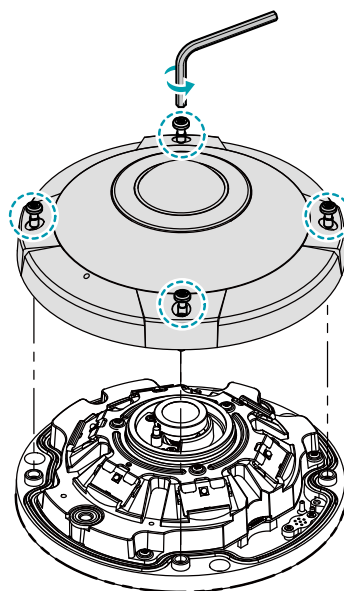
全体のシステムを構成する他の装置については、各装置の**説明書**を参照してください。

 製品の色やデザインはモデルによって異なることがあります。

SDメモリーカードの挿入

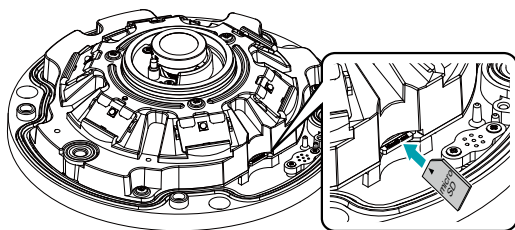
- 1 まず、製品と一緒に提供されるLレンチを利用してネジを反時計回りに回します。

-  上段カバーからネジを完全に取り外さないでください。取り外すと、ネジが落下して怪我をするおそれがあります。
- 上段カバーとカメラ本体に接続されている安全ワイヤーを取り外さないでください。安全ワイヤーは上段カバーをカメラの本体から分離する時、上段カバーの落下を防止します。



- 2 上段カバーを分離します。

- 3 スロットにSDカードを挿入する時、「micro SD」が印刷されている面を上向きにします。



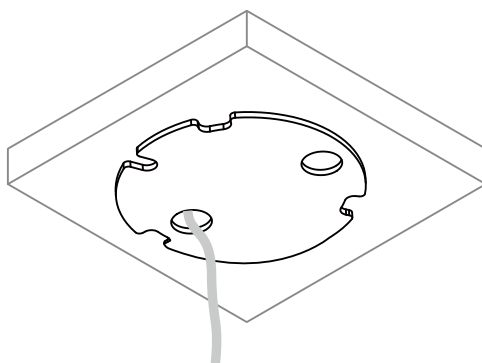
- ✓ スロットからSDカードを抜く時は、SDカードの端の部分を軽く押します。

設置する


- ⚠
- 壁または天井の補強工事が必要かどうか確認してください。壁または天井にカメラを支えられる強度がないと、カメラが落ちることがあります。
 - カメラを直射日光が当たる場所に設置すると、製品に悪影響が出る恐れがありますので、涼しいところに設置してください。


- ✓
- 同梱されているガイドパターンを利用して、ネジの間隔を確認できます。

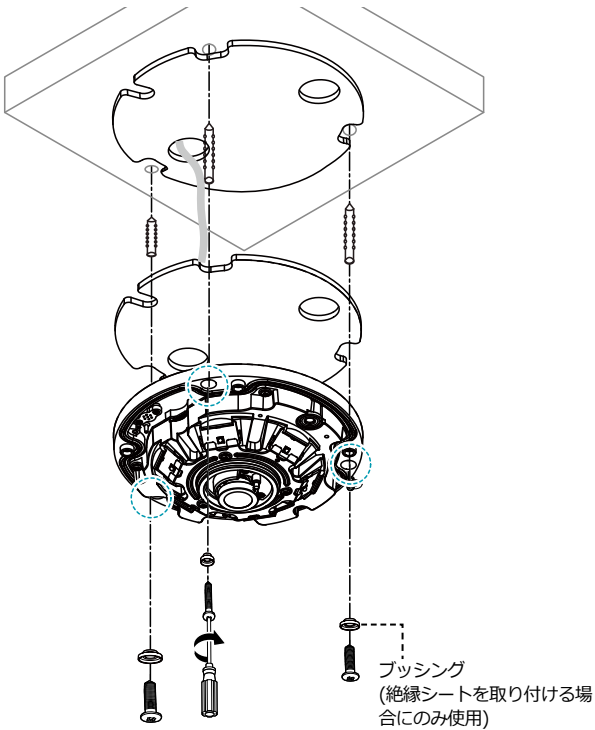
- 1 同梱されている絶縁シートの白い紙を取り除いてから壁または天井に取り付けてください。カメラを金属面に設置したときに発生するノイズを低減することができます。




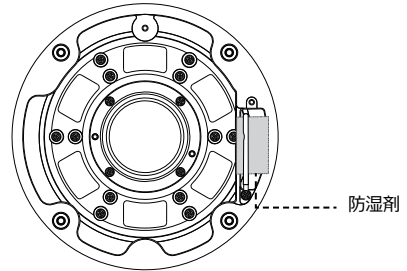
2 SDカードを挿入した本体を、同梱されている設置用アンカーとネジ、ブッシングを利用して本体を壁または天井に固定させます。


 絶縁シートを壁または天井に取り付けない場合は、ブッシングを使用しないでください。

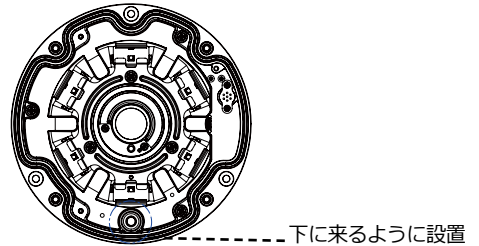
-  上段カバーとカメラ本体に安全ワイヤーが接続されているか確認してください。安全ワイヤーは上段カバーをカメラ本体から外す時、上段カバーの落下を防止します。
- 湿気を防止するために防湿剤を同梱しています。図のように防湿剤を本体の指定された空間に取り付けてください。



 「カメラに同梱している防湿材を」のほうが良いと思います。




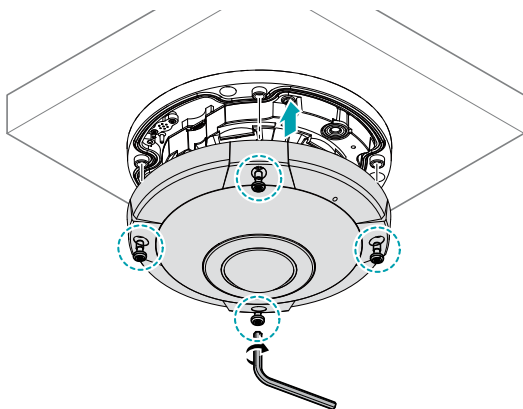
 カメラを壁に設置する場合、カメラ本体の方向が下の図のようになるように設置してください。正しく設置されていないと、映像が反転して見ることがあります。



3 外部装置及びネットワークを接続します。

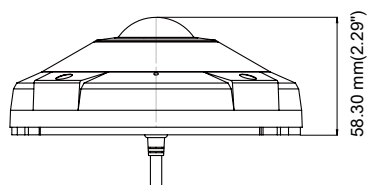
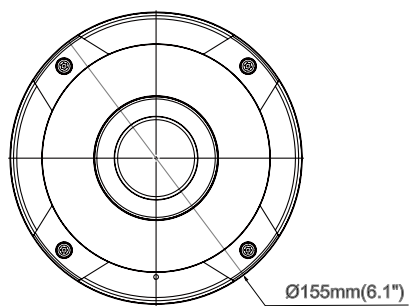
4 製品に同梱されているLレンチを使用して、トップカバー用ネジを時計回りに回し、本体とトップカバーを固定します。

 トップカバーを固定した後ドームポートに貼り付けてある保護フィルムを剥がしてください。

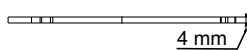


■ 寸法

カメラ



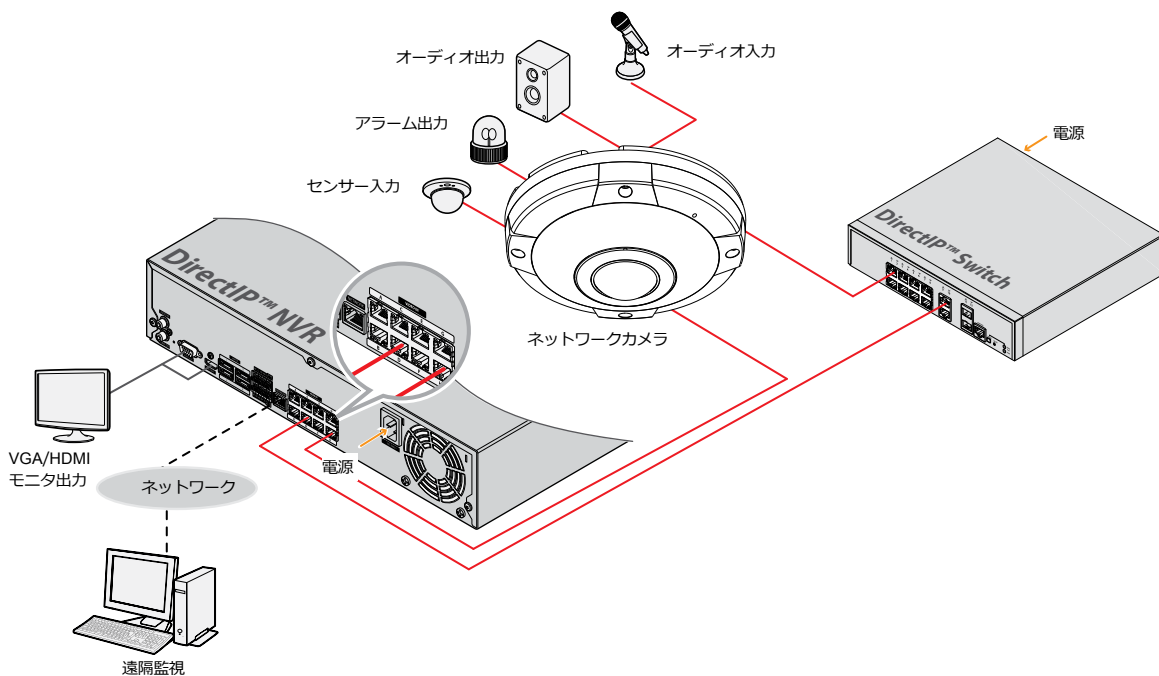
絶縁シート



第2章 – カメラ接続

DirectIP™ NVR(またはDirectIP™未対応NVR)やVMS(例、IDIS Solution Suite Compact)にカメラを接続します。

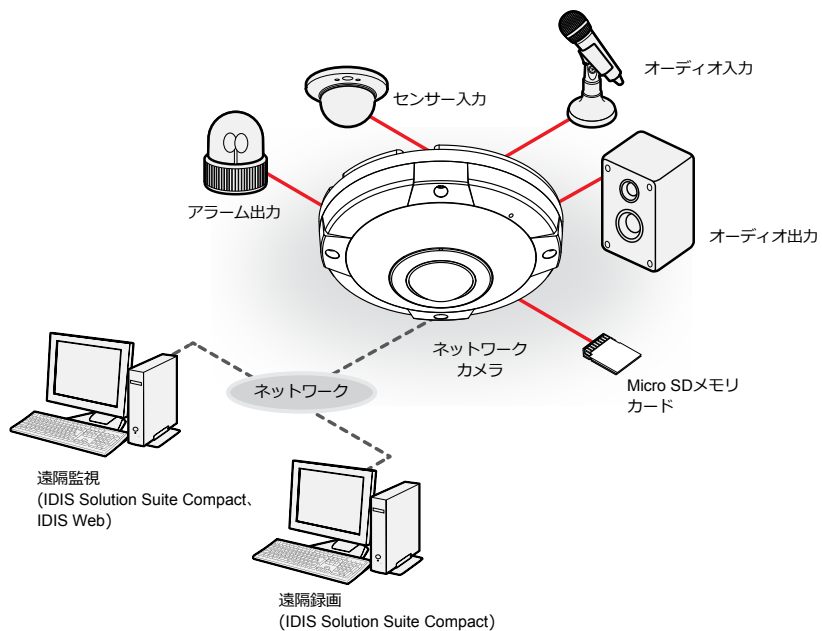
DirectIP™ NVRご利用の際



DirectIP™ NVRを使用すると、別途のネットワーク設定をしなくてもカメラを簡単に使用することができます。別途のPCがなくてもDirectIP™ NVRですべてのカメラを制御することができます。カメラ設定の詳細はDirectIP™ NVRのオペレーションマニュアルのカメラ設定のページをお読みください。

DirectIP™ NVRに接続してカメラを使用する場合、カメラのオペレーションマニュアルをお読みいただく必要はありません。

一般遠隔監視/録画



PCにインストールしたソフトウェアによってネットワークに接続されたカメラを制御します。
遠隔地でネットワークで接続されたカメラを使用するのに適しています。

カメラのオペレーションマニュアルはネットワークカメラがDirectIP™モードに対応しないNVRに接続されていたり、IDIS Solution Suite CompactのようなVMSに接続されている場合にお読みください。

第3章 – 付録

故障の際の確認事項(Q&A)

症状	確認事項
本体が起動しません。	<ul style="list-style-type: none">電源コードの接続状態を確認します。コンセントの電源を確認します。
PoEスイッチが認識されません。	カメラに接続された入/出力デバイスとPoEスイッチのアースの状態を確認します。アースされていない場合、アースして使用してください。
監視映像が表示されません。	<ul style="list-style-type: none">カメラの電源を確認します。カメラとレンズに接続されているケーブルが抜けていないか確認します。PCおよびネットワークカメラのネットワーク接続状態を確認します。
映像がぼやけて見えます。	<ul style="list-style-type: none">レンズに埃が付いていないか確認してから、きれいな布やブラシで拭き取ります。ピントが正しく合っているか確認します。レンズのピントが合っていない場合は昼間にピントを調整します。画面に明るい光がたくさん入りすぎる場合、カメラの位置と角度を適切に調節します。
映像の色が違って見えます。	カメラの設定時ホワイトバランス設定を確認します。 自動 に設定した場合、ホワイトバランスを調節するのに若干の時間がかかります。
映像が点滅します。	カメラが太陽や蛍光灯に向かい合うように設置されている場合、カメラの方向を調節します。
Admin IDとパスワードを忘れてしまい、ネットワークカメラに接続できません。	ファクトリーリセットを実行しなければなりません。ファクトリーリセットを遂行すると、ネットワーク設定を含めるすべての設定値が工場出荷時の初期値に戻り、現在の設定値がすべて失われます。万が一のため、ファクトリーリセットを実行した後IDおよびパスワードを別途に記録して下さい。
IDIS Webプログラムが実行されません。	IDIS Webプログラムのログイン画面が実行されない場合、マイクロソフトインターネットエクスプローラのバージョンを確認して下さい。バージョンが6.0より古い場合はIDIS Webプログラムが正常に実行されないことがあります。

製品の仕様




本製品の仕様は、製品の改良のため、事前予告なしに変更されることがあります。

ビデオ

イメージセンサー	1/1.7" CMOS
最高解像度	3200 x 2944
走査方式	プログレッシブスキャン
レンズの種類	単焦点レンズ
焦点距離	f=1.98mm
絞り	F2.8
絞りコントロール	固定アイリス
画角	H: 180° / V: 174.8° / D: 180°
最低被写体照度	カラー: 0.2 lux @ F2.8 白黒: 0 lux @ F2.8 (IR LED ON)
ダイナミックレンジ	120dB、True WDR
電子シャッター	手動 / 自動 (1/30 ~ 1/10,000)、アンチフリッカー、Slow Shutter(1/7.5、1/15)
昼間/夜間	IRカットフィルター(自動切換)
IR動作距離 (LEDs)	最大 15m (6個)
画面構成	10、1P、1P2R、2P、4R、107R

ネットワーク

圧縮アルゴリズム	H.265、H.264(MPEG-4 Part 10/AVC)、M-JPEG	
ビットレート制御	VBR / CBR	
最大送信レート	30fps: 3008 x 9008	
音声圧縮アルゴリズム	G.726、G.711	
対応解像度	DirectIP™	3200x2944, 800x752
	Non DirectIP™	3200x2944, 3200x1504, 2400x2256, 1600x1504, 1600x752, 800x752
ストリーミング数	DirectIP™	4
	Non DirectIP™	6
イーサネット	RJ45(10/100/1000BASE-T)	
外付けストレージ * (オプション)	 (マイクロSD/SDHC/SDXCメモリーカード (Class 6以上、最大128 GB))	

* 安定的な録画のために、マイクロSDメモリーカード(SanDiskまたはTranscendメーカーのSLC (Single Level Cell)またはMLC (Multi Level Cell)タイプの製品を使用することをお勧めします。

* SDメモリーカードは寿命のある消耗品です。使用回数が増えるほどメモリーセクターが損傷し、録画できなくなったりデータが損失することがあります。SDメモリーカードを定期的に点検し、必要な場合は交換してください。

* microSD のロゴは、SD-3C、LLCの登録商標です。

入/出力

オーディオ入力および出力	ライン-イン1系統 / ライン-アウト1系統 / 内蔵マイク1系統
アラーム入力	1 TTL、NC/NO Programmable、4.3V(NC) または 0.3V(NO) threshold、DC5V
アラーム出力	2 TTL open collector、最大負荷: 30mA、最大電圧: DC5V

一般

バンドル・プルーフ	Yes
室外運用	IP66
動作温度	-10°C ~ +60°C (※日本仕様)
起動可能な温度	0°C ~ +50°C (※日本仕様)
動作湿度	0% ~ 90%
電源	DC12V、PoE(IEEE 802.3af, Class 3)
消費電力	Max. 12.6 W
認証	FCC、CE
外形サイズ (Ø x H)	155 mm x 58.3 mm
本体重量 (本体のみ)	0.92 kg

